

第1回伏古北小CS分科会開催！

7/16（木）、1，5，6年生の参観懇談と第1回CS分科会を行いました。

本校の学校運営協議員は4名ですが、御都合やお怪我により参加できない方がいて、今回は少人数でのCS分科会となりました。

CS分科会のテーマ「地域へのあいさつを広げたい！」

昨年度は、2回CS分科会を行いました。その中で話し合われたのが、「地域へのあいさつをどのようにひろげていくか？」でした。このテーマは、伏古北小、伏古小、札幌小、札幌中の4校からなるパートナー校での児童生徒会交流の中で、子どもたちから出された願いでもあります。今年度もCS分科会ではこのテーマをもとに、実現に向けて熟議を重ねていきたいと思います。

実態は？手立ては？

分科会では「実態はどうか？」そして、「地域へあいさつを広げていくための手立ては？」という二つの柱を設け、昨年度より熟議を行ってきています。今回出された御意見も含め、紹介していきます。

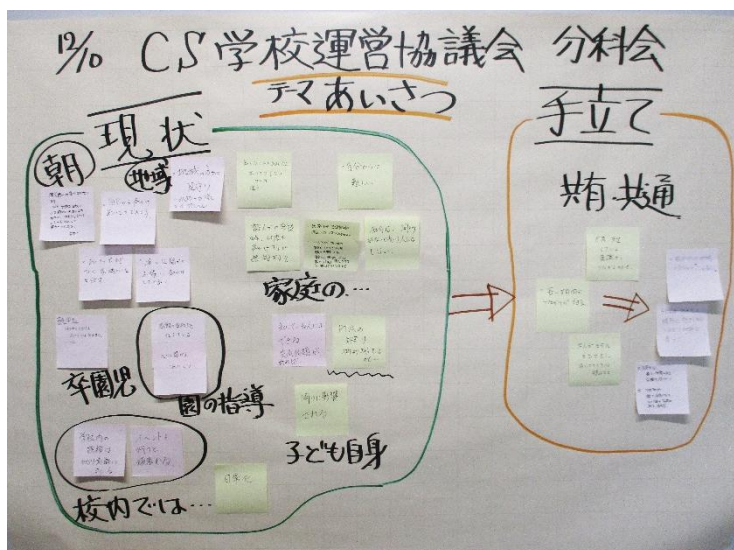
<今の子どもたちの実態は？>

- 校内では、挨拶はかなり意識できている。
- あいさつ週間等、イベントがあると頑張れる子が多い。
- みまもーる隊の方たち等、普段から見守ってくれる人や知っている人には挨拶できている。
- 校外でも、その方と共通の話題があれば挨拶したり、話し掛けたりしてくる。
- 公園でのお祭りの時には、子どもたちも声を掛けてくる。
- 幼稚園も恥ずかしながらも挨拶を忘れずにしている。
- 知らない人に対してはしない。
- 数人で登校している時は、何度も声掛けするが無視して行く。
- 周りがしていたらするが、そうでなければしない子もいる。



<手立てとしては？>

- ・慣れたり、安心したりできるような関わりや取組が必要ではないか？
- ・まず大人が範を示すことが大事なのでは？
- ・学校生活で豊かな心や余裕が生まれることが挨拶にもつながるのでは？
- ・不審者と思われないような工夫が必要。例えば、交通安全に関わる帽子やジャンパーを着ているとか、交通安全の旗を持っている等…挨拶をする方も、子どもたちも安心感をもたせることが大事なのでは？



このように付箋に自分の考えを書いて、貼り、みんなで熟議を行っています。模造紙に

まだ、熟議は続いています。伏古北小として、少しずつ形にできるところや、やれそうなことに取り組んでいきたいと思っています。